

令和6年度 学校自己評価システムシート

日高市立高萩中学校

目指す学校像	みんなで創る 笑顔あふれる おらが地域の学校
重点目標	豊かな心の育成 確かな学力の向上 健やかな体を育む環境整備 開かれた学校 教職員の資質向上

学 校 自 己 評 価											
年 度 目 標			令和6年度評価（令和 7年 1月 8日現在）						学校運営協議会での評価 を受けて		
評価項目	具体的方策	評 価 指 標	評価基準	教職員の割合	保護者の割合	目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策 〔・次年度へ継続する課題 ・改善していくための方向性〕	学校運営協議会での評価 実施日 令和 7年 1月24日 学校運営協議会の委員からの 意見・要望・評価等	「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等 （※変更点や追加事項等がない場合は空欄）	
組織運営 の充実 小中一貫教育の視点	・学校教育目標（賢く 優しく 逞しく）の具 現化	1	学校は、「よりよく生きる力を育む」ために「自ら学ぶ力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を積極的に進めている。	A＋B	95.0%	88.9%	X	・小中でタイピングに取り組む等、学力向上の 下地作りとなる小中一貫活動を継続しながら、 更なる取り組みを研究する。 ・学校教育目標・学年学級目標を明確にリンク させ、生徒が生活における様々な場面で教育目 標が意識できるようにする。 ・9年間を見通した学習指導・生徒指導・教育 相談を拡充する為に、小中合同での合同研修や 部会を設けて情報共有する。 ・特別活動・人権教育を中心として、より良い 人間関係を構築する。また、チーム高萩中とし て全教職員で生徒理解を深めていく。	・小中で共通してタイピングに取り組んでいること は大いに評価できる。 ・文化が違うとも言われるが、中→小への派遣は評 価できる。教頭・教務・学年主任等も月1で交換動 務できるとよい。 ・校則の見直しについて生徒主体で意見交換をし、 実際に改正されたことは生徒理解を深められた。 ・不登校が減少していることは素晴らしい。 ・落ち着いて授業を受けていることが何よりで、よ り良い人間関係づくりにおいても高評価に向かって いる。 ・小中一貫は保護者から見えにくい。	・小中教員が気軽に行き来できる環 境の整備を進める。	
		2	学校は、生徒一人一人の良さを認め、よりよい人間関係づく りの指導に積極的に取り組んでいる。	A＋B	90.0%	85.3%					
			学校は、授業において「めあて」を明示し、生徒の言葉で 「まとめ」を行う等、「できた、わかった」と感じられる授 業実践をしている。	A＋B	85.0%	83.3%					
				Aのみ	30.0%	15.1%					
基礎学力 の定着	・わかる授業の実践と 学習習慣の定着	3	学校は、生徒が積極的に家庭学習に取り組めるよう指導に努 めている。	A＋B	60.0%	70.6%	Y	・ICT機材の故障・不足があるので、市教委と も連携し、補修・補充を進める。 ・学力向上に向けて授業力の向上・家庭学習の 定着等の課題を解決していく。家庭学習につい ては各教科で取組方のプリントを配布し、継続 指導する。 ・定期的に教科部会を行い、各教科としての取 り組みを確認する。 ・板書やプリントを構造化し、視覚的にも分か りやすい授業ができるよう研究を進める。 ・各教科で思考する場面を意図的に設定し、理 由を考えながら学習できるようにする。	・めあての提示、まとめの生徒による言語化は評価 できる。 ・教科経営の充実に向けて職員の長期研修派遣など 検討をする等とよい。 ・中学の家庭学習は自主的な取組のため、保護者か らは分かりづらい面がある。難しいが工夫して進め て欲しい。 ・家庭学習への取組について、教師が保護者よりも 低い数値であることが気がかりである。 ・勉強が得意な生徒をさらに伸ばせる対応を。 ・タブレット利用について市と連携しSNSの利用制 限を確実に行って欲しい。	・家庭学習の方法を生徒が置かれた 現在の状況に合わせて変えていく。 ・eライブラリ等の、使用できる資源 を活用し、学力向上につながる家庭 学習の研究を進める。 ・基礎学力の向上に向けた研修等の 取組。	
		4	学校は、授業において「めあて」を明示し、生徒の言葉で 「まとめ」を行う等、「できた、わかった」と感じられる授 業実践をしている。	Aのみ	25.0%	13.9%					
		5	学校は、授業や行事の公開、各種たよりを通じて、教育活動 を知ってもらう取り組みを積極的に進めている。	A＋B	100.0%	93.7%					
			学校は、PTAや小学校、地域の人々と連携して教育活動に取 組んでいる。	Aのみ	65.0%	31.0%					
保護者や 地域との 連携 コミュニティ・ス クールの視点	・目指す学校像「みん なで創る笑顔あふれる おらが地域の学校」の 具現化	6	学校は、PTAや小学校、地域の人々と連携して教育活動に取 組んでいる。	A＋B	100.0%	90.5%	X	・小中一貫のメリットを子供たちが実感で きる取組を増やすことで、地域や保護者も 一貫を実感できるようにしていく。校庭・ プール等の施設共有を継続し、委員会活動 等の小中合同実施等、活動しやすい場 面を設定する。 ・資源回収や地域清掃のような保護者・地 域と生徒の協働できる場面を継続する。ま た、除草作業等でも生徒と地域の方が一 緒に活動できるよう計画する。 ・LEBERを効果的に用いて学校からの広報 を拡充する。	・小中一貫のメリットをアピールし、子供や保護者 から「一貫っていいよ!」という声が聞きたい。 ・保護者や地域が参加する活動において、中学生が 主体的な学びや、将来に向けて直接運営する取組を していくとよい。 ・地域清掃は地域の方に顔を知っていただく良い機 会。今後も継続を。 ・LEBERによる連絡は保護者にとって、いつでも確 認できるのがよい。 ・行事や公開により学校の取組を知ってもらい、そ の結果が生徒の成長や成果として現れている。地域 との連携の継続を。	・定期的に小中一貫の取組を家庭・ 地域に広報する。	
		7	学校は、生徒が周囲の人との絆を大切にしながら、将来の夢 や希望の実現ができるよう指導している。	A＋B	95.0%	85.7%					
			学校は、生徒が周囲の人との絆を大切にしながら、将来の夢 や希望の実現ができるよう指導している。	Aのみ	60.0%	21.8%					
				A＋B	95.0%	89.3%					
社会性・ 人間性 の育成	・よりよく生きる力の 育成	8	学校は、生徒が周囲の人との絆を大切にしながら、将来の夢 や希望の実現ができるよう指導している。	Aのみ	60.0%	27.4%	X	・単年度ではなく、3年間を見通したキャ リア教育を行う必要がある。「志ノート」 の内容を精査し、公立高校の入試も見据え ながら、面接対策やエントリーシートの記 入と行った進路学習に繋げていく。 ・生徒会活動・学校行事は豊富に行うこと ができ、その中で生徒の成長に繋げること ができた。しかし、特定の月に行事が多 くなる傾向があるので、実施時期をや内容の 検討を進める。	・学校行事が生徒・保護者の目慢できる伝統になっ ているのが素晴らしい。 ・今後の公立高校の調査書には出欠の記録が無いこ との意味を生徒・保護者・教職員で共有する。 ・授業時数を確保しつつ様々な活動ができているこ とは評価されるべき。 ・行事から得られることは沢山ある。安易に減らす のは人間性・社会性の育成を妨げる。 ・働き方改革の視点に立ち、無理のない範囲で行事 への取組を。 ・自己実現を図ることは生き方として大切。「志 ノート」の活用は評価できる。		
		9	学校は、生徒が周囲の人との絆を大切にしながら、将来の夢 や希望の実現ができるよう指導している。	A＋B	95.0%	81.3%					
			学校は、生徒が周囲の人との絆を大切にしながら、将来の夢 や希望の実現ができるよう指導している。	Aのみ	60.0%	27.4%					
				A＋B	95.0%	81.3%					
安心安全 な教育環境	・安心で安全な学校環 境づくり	9	学校は、生徒が周囲の人との絆を大切にしながら、将来の夢 や希望の実現ができるよう指導している。	Aのみ	60.0%	27.4%	X	・高萩中ユリイカや相談室・保健室・学級の連 携により、不登校の減少や学校を安心な場所と 捉える生徒の数が向上したので、チーム高萩中 としての取組を継続する。 ・学校や教室に入れない生徒へのフォローに向 けて、外部機関との関わりを強化する。 ・いじめ問題については0を目指して積極的生 徒指導を継続するが、いじめが発生したときの 加害・被害の双方に対してのサポート体制をよ り充実させる。 ・適用可能な生徒にオンライン授業の実施を検 討する。	・学校の環境整備・防犯に感謝。 ・不登校の減少が見られたのは素晴らしい。 ・学校事故により信頼を失うことがある。引き続き 研修等への取組を。 ・いじめについて早期発見・対応ができているの ではないか。 ・いじめは初期に発見し対応することが大事。ま た、プライバシーにも留意を ・いじめについての対応方法について、分からない 部分もある。 ・高萩中ユリイカについて、保護者とも連携し活用 を進めるべきである。	・生徒・教師が一体となっていじめ の撲滅に向けて取り組み、家庭・地 域に向けて情報発信する。	
		10	学校は、生徒が周囲の人との絆を大切にしながら、将来の夢 や希望の実現ができるよう指導している。	A＋B	100.0%	86.1%					
			学校は、生徒が周囲の人との絆を大切にしながら、将来の夢 や希望の実現ができるよう指導している。	Aのみ	60.0%	27.4%					
				A＋B	95.0%	81.3%					